

## 令和6年度第1回三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会 議事概要

開催日時：令和7年1月28日（火）18時00分～19時30分

開催方法：Web開催

出席委員：部会長 齋藤 洋一 他委員17名

欠席：委員2名

### 【議事概要】

#### （1）自殺対策について

##### ＜事務局説明概要＞

資料1から資料3-2、別紙1に基づき、「三重県の自殺の現状について」「国の自殺対策の動向について」「第4次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について」説明を行った。

##### ＜委員からの主な意見＞

- ・自殺予防週間や自殺対策強化月間の認知度が、前年に比べて減っているが、実際は県や市町、民間団体等において、自殺予防週間や自殺対策強化月間で様々なことをしている。全体として、マスコミを含めて盛り上げようという働きかけをしていく必要がある。
- ・若者へのアウトリーチ支援の中にある、アドバイザーを学校等に派遣するという取組はどういった学校を対象としているのか。また、今後の方向性を教えてほしい。

##### ＜意見に対する回答＞

- ・自殺予防週間や自殺対策強化月間に県で実施している取組としては、市町や保健所の取組をまとめて県のホームページに載せている。また、県や課のX（旧 Twitter）での広報や、ラジオ、県民だよりを使った周知をしている。より良い方法を検討させていただく。
- ・現状、アドバイザー派遣は県教育委員会と連携して、県立の高校を主に対象としている。今後、対象を広げるために事務局で検討段階である。

##### ＜意見交換＞

- ・電話を通じて、悩みごとに対して傾聴して寄り添って対応している。9月の自殺予防週間と3月の自殺対策強化月間に合わせて、県、市と一緒に街頭啓発をした。少しでも自殺予防につながる形の活動をしている。
- ・できるだけ多くの方に自殺予防の認識を高めていただくことを目的に、3月の自殺リスクの高まりに対応するために、自殺対策強化月間を迎える前の2月中から、広報ポスターの掲示や、各種相談支援及び取組を指示している。

- すべての児童生徒を対象とする自死予防教育と、自死の危険の高い児童生徒への直接的な支援としての危機管理を並行して進めることが必要であると考えている。事後対応としては、周囲の生徒や自死の子どもを取り巻く教職員のケアも大切に考えていかななくてはならないと考えている。
- 相談電話では、生活困窮から希死念慮という話も出てくる場合もあるので、専門のコーディネーターにつなぐことも、大切なことであると考えている。
- 経済的問題を抱える方に対して、セーフティネットを用意しておくことが必要である。